

■事務室の方へ 恐れ入りますが、分会長さんへお渡しください。

長野高教組FAXニュース	増刷りの上、職場のみなさんに配布してください。
〒380-8790 長野市県町 593 TEL 026-234-2216 FAX 026-234-2219 メール naganokokyoso@educas.jp HP http://naganokokyoso.com/ FAX ニュースは、HP からダウンロードできます	2022年3月24日(木) No. 396 (21-14)

3月24日定例教育委員会で新入試制度を決定、 高校再編整備計画（三次）案公表は延期

高校入試「三次案」をほぼそのまま決定

新たな「高校入学者選抜制度」については2019年9月に公表した「二次案」が複雑でわかりにくいなどの指摘に、県教委は実施時期を3年延期し検討をすすめてきました。その後、2021年3月にコロナ禍を踏まえ「どのような状況でも実施できる制度としたい」との方針を示し、9月の定例会で「三次案」が示されました。今回はほぼそれと同じ内容で決定されました。

今回決定された新入試制度では、「自己推薦型選抜」を引き継ぐ「前期選抜」の募集枠を拡大し（50%→60%）、前期選抜を実施する学校では「学力検査」を全員に課すことになります。「後期選抜」では従来の学力検査に加え、全校で「（紙上面接を含む）面接」の実施を導入します。生徒と指導する教職員の負担軽減のためとして「志願理由書」や「調査書」の様式は簡略化されます。また、定時制課程の追加募集は再募集に統合されます

「三次」（案）が示されたあとに全県で開かれた住民説明会では、後期選抜で新たに取り入れられた「面接」の意義、「紙上面接」で「学びに向かう姿勢」を見ることができるのか、また新制度で増大する生徒や教職員の負担をどう解消するかについて疑問や意見が集中しました。しかし、「面接」については「回答からその子なりの主体性・意欲を確認したい」として全く見直しはなく、新制度改革の柱とされています。

新制度入試は、来年度に要綱案や前期の検査内容を公表し、2025年4月の高校入学生（現在の小学校6年生）から適用される予定です。

生徒・教職員の負担軽減については「Q&A」で、「マークシート方式の導入の検討」や「電子媒体での出願」などを挙げていますが、今後、交渉などで実効ある軽減策を追求していく必要があります。

「高校再編整備計画」三次（案）、知事部局との調整不十分で公表延期

高校再編整備計画「三次」（案）について、県教委は2022年度末に示すというスケジュールですすめてきましたが、今回の定例会では、「コロナ感染症の影響により、学校や庁内関係部署との引き続き行う必要がある」として、公表延期を決定しました。決定時期については「調整ができ次第、速やかに」と答えるにとどまりました。庁内関係部署は、具体的には財政部、管財部、産業労働部など知事部局のことで、財政の裏付けや総合技術高校などでの「産業人材の育成」について調整がまだできていないことを窺わせました。

また県は4月からの人事異動で、知事部局や市町村との調整を担当する「高校教育改革推進」参事（行政職）を新設しました。今後、高校改革への行政の関与が高まっていくことが予想されます。